

経営理念

企業人として、
新しい価値をダイナミックに創造し、
世の中に喜びと感動を
提供することに努め、
人として、誇り高き生き方を志す。

OUR CREDO

▶ CONTENTS

経営理念	P1
株主の皆さまへ	P1
営業の概況	P5
財務ハイライト	P8
財務諸表	P9
トピックス	P11
株式の状況	P13
会社概要	P14
株主メモ／ホームページのご案内	裏表紙

【将来に関する記述に対する注意事項】
本資料には、将来の財政状態および経営成績の予測に関する記述があります。この前提および将来予測の記述については、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることにご留意ください。
*「Edy (エディ)」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
*「FeiCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカード技術です。
*「FeiCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。
*「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
*QRコード[®]は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
*サイバードおよび「CYBIRD」ロゴは、株式会社サイバードの商標または登録商標です。
*記載されている会社名および商品名／サービス名は、各社の商標または登録商標です。

株主の皆さまへ

To Our Shareholders



株主の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、株式会社サイバード第8期事業報告書(2005年4月1日から2006年3月31日まで)をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

[2006年3月期 業績報告]

当期の業績につきましては、期初計画を大幅に下回る結果となり、株主の皆さまのご期待に沿えず、まずは深くお詫び申し上げます。当期は中期経営計画の初年度として、その推進に最大限注力し、広告事業など新たなビジネスの立上げも果たし、事業基盤の構築には一定の成果がありました。一方で連結子会社の業績不振が響くなど、当社グループの業績は、不本意な結果となりました。

しかしながら、引続き主力のモバイルコンテンツ事業やマーケティングソリューション事業を伸長させ、売上高は、単体では12,731百万円と対前期比1,009百万円増(8.6%増)となり、また連結では、海外事業における子会社売上高を当上期より新たに連結開始したこともあり、15,089百万円と対前期比2,600百万円増(20.8%増)となり、単体、連結ともに過去最高の売上高となりました。

経常利益は、単体では763百万円、対前期比10百万円減(1.4%減)となり、連結では35百万円、対前期比で685百万円減(95.0%減)となりました。連結では、マーケティングソリューション事業や海外事業における連結子会社の損失影響により、単体と比較し大きく減少いたしました。

当期純利益は、単体では379百万円となり、連結では経常利益が低水準であったことから、不本意ながら143百万円の損失計上となりました。単体、連結とも前期に約18億円の関係会社売却益があった反動から、双方とも当期純利益は大きく減少し、単体は対前期比1,102百万円の減少となり、連結では対前期比1,663百万円の減少となりました。

[統合型顧客データベースの構築に向けて]

一方、当期は、中期経営計画の実現に向けて、新たなプラットフォームビジネスの確立を目指し、さまざまなアクションを実施いたしました。

プラットフォームビジネスの核となる顧客基盤の確立においては、ビットワレット株式会社(電子マネー「Edy」の運営)、富士急行株式会社、イー・トレード証券株式会社、株式会社新星堂など、さまざまな業種業態の企業との提携に注力いたしました。提携各社に当社のモバイルサービスを活用いただくことで、各社の集客および顧客の定着化に貢献する一方、それらのサービス利用者を、当社サービスの提供も可能とする独自会員とし、性別や年齢、行動・消費属性を捕捉した

統合顧客データベースの構築を鋭意推進しております。

また、会員の「定着化」のため、使って“楽しい”“お得”で“便利”なサービスを次々に投入。「お天気」、「占い」、「市況情報」等に加え、「動画ニュース」配信やカメラ機能を利用した「肌年齢診断」等、ユニークな新コンテンツも充実させ、多くのお客様から喜びの声をいただきました。そうして定着した会員により確立された顧客基盤を活用し、新規事業である広告事業、Eコマース事業も開始いたしました。

これら当期のアクションは、新たな収益基盤の拡大に繋がるものであり、また、堅調な既存ビジネスに加え、子会社の足元業績も改善傾向にあることから、次期以降につきましては、株主の皆さまのご期待に沿えることと考えております。なお、当期の期末配当につきましては、期初の計画どおり1株当たり167円とさせていただきます。

さらに、本年10月には、Eコマース事業のパートナーである株式会社JIMOSと持株会社体制への移行による経営統合を予定しております。経営統合を契機として、両社の強味を活かした事業シナジー、グループ全体での効率的経営を実現し、更に収益力を向上させつつ、邁進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

株式会社サイバード
代表取締役会長 兼 社長
堀 主知口バート

全てのお客様に、最高のサービスを提供するために

昨年3月にサイバードとJIMOSがモバイルコマース事業で包括的な事業提携を結んでから1年。ついに、我々が望み続けた次の形へと進化することができました。それが、本年3月に発表した両社の経営統合です。

サイバードは、モバイルという一見、無機質なものをビジネスの拠りどころにしていますが、私は常々社員に向けて「一人でも多くの人から、ひとつでも多くのありがとうを」と伝え続けてきました。それは、モバイルはあくまでも道具であり、それを使って提供されるサービスには“お客様を想う心”がなくては、受け入れていただけないからです。

5年程前でしょうか。モバイルが、通話の道具からインターネットや決済機能を有したものと進化した時、サイバードも「モバイルコマース」の分野への進出を決めました。しかしながら、我々にはノウハウもなく、そして何より一人ひとりのお客様に対して個別にサービスを提供するという経験がありませんでした。そんな時に、サイバードと同じ年に設立されたJIMOSという会社と出会ったのです。私はこれを運命の引き合わせだと思っています。なぜなら、JIMOSは通販事業という分野で、サイバードと同じように“お客様を想う心”つまりは「ユーザーベネフィット(お客様の利益)」を大切にされたビジネスを展開し、急成長を遂げてきた会社だったからです。

同じ想いを抱えていた我々はすぐに意気投合し、昨年の事業提携以降さまざまなテストをくり返し、そして経営統合へと歩みを共にするようになりました。

サイバードは、「モバイル」の黎明期からいち早くビジネスを立ち上げ、実に多くのお客様にサービスをお届けしてきました。「モバイル」は、売り手側から多くのお客様にコミュニケーションすることを、コストの制約を取り払い可能にしてくれたからです。しかし、お客様が増えればニーズも多岐にわたり、その一つひとつを満たすという難題を突きつけられました。一方JIMOSは、論理的に分析されたデータに基づく戦略に、一人ひとりに合わせたきめ細かい対応を組み合わせ、驚異的なリピート率を誇る「顧客満足度の高い」(お客様に選ばれる)企業となりました。しかしながら、そのきめ細かい対応を提供するお客様を広げるという規模の拡大において壁にぶつかったのです。

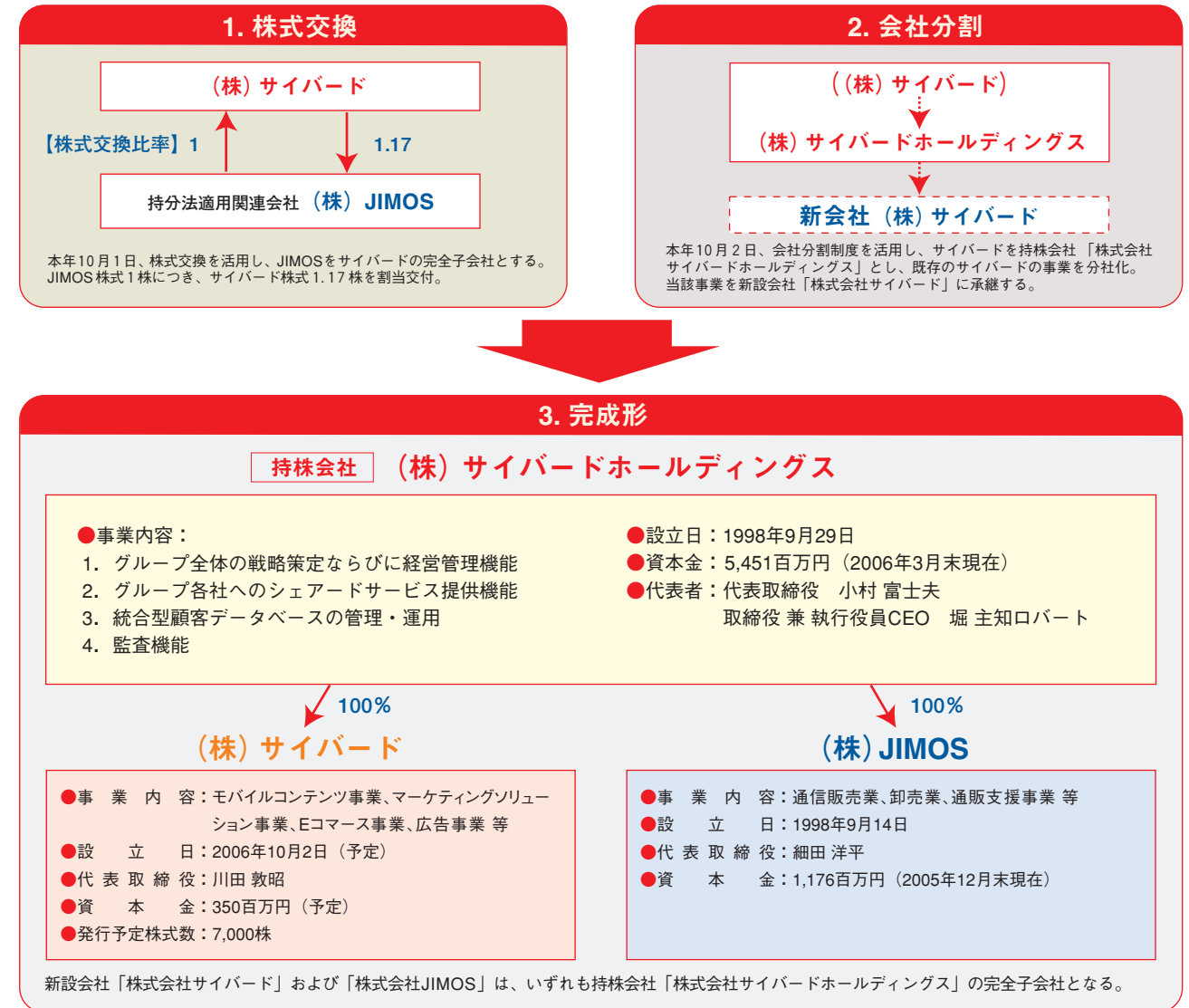
そんな両社が統合し、互いの得意とする部分をあらゆるビジネスに注ぎ込んだとき、そこには「規模」と「顧客満足度」、この両方を手に入れた「全てのお客様に最高のサービスを提供することができる」企業が存在するはずでした。

どうか株主の皆さまにも、我々の統合の先にある可能性に目を向けていただき、変らぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



堀 主知口バート

統合スキームと各社の事業内容



営業の概況

当期の連結業績につきましては、主力のモバイルコンテンツ事業の牽引や連結子会社の増加等により、売上高は引続き過去最高を更新する一方、マーケティングソリューション事業における子会社の業績改善の遅れや、海外事業子会社における想定外の収益機会損失*等、連結子会社の損失影響が大きく、利益面は前期に比し、大幅に減少いたしました。

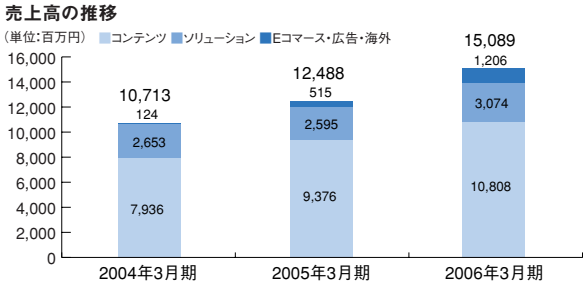
しかしながら、国内子会社については、当期中に不採算事業からの撤退や持株売却による整理等を進め、海外子会社については、足元業績が改善基調にあり、また、新規ビジネスである広告事業の収益化も着実に進んでいることから、次期業績においては、主力事業の更なる伸長に加え、新規事業や子会社業績の改善効果を見込んでおります。

※現地通信事業者の複数の統合に際し発生した一時的な回線障害により、当該子会社を含む現地コンテンツプロバイダーは2005年8月から11月の間、この影響を受けました。

売上高
●当期の連結売上高は、主力事業の伸長に加え、海外事業の子会社収益の新たな連結により、過去最高の15,089百万円と対前期比2,600百万円増(20.8%増)

経常利益
●連結経常利益は、35百万円と対前期比685百万円減(95.0%減)
●マーケティングソリューション事業、および海外事業における連結子会社の損失影響により、連結経常利益は、単体経常利益763百万円に比較し大きく減少

当期純利益
●連結当期純利益は、経常利益が低水準であったことから△143百万円と不本意ながら損失計上
●前期には約18億円の関係会社売却益があった反動から、当期純利益は、対前期比でも大きく減少



▶▶ モバイルコンテンツ事業

- 売上高は、10,808百万円となり対前期比で1,432百万円増(15.3%)と、前期に続きニケタ成長を達成し、過去最高を更新
- 『江原啓之スピリチュアルメッセージ』や『鏡リュウジ恋占術』等のブランド力のある主力コンテンツの継続的な会員数増加や、新規投入コンテンツの短期間での収益貢献等により、期中を通じ好調に推移

	2006年3月期	2005年3月期	増 減
売上高(百万円)	10,808	9,376	1,432
対連結売上構成比(%)	71.6	75.1	△3.5

▶▶ マーケティングソリューション事業

- 売上高は、3,074百万円と対前期比で478百万円増(18.4%増)となり、モバイルコンテンツ事業同様、過去最高を更新
- 株式会社ガリバーインターナショナルやロイター・ジャパン株式会社等のクライアント企業のモバイルサイト開発受託・運用等が堅調に推移

ガリバー車情報

©2006 Gulliver International Co., Ltd.

	2006年3月期	2005年3月期	増 減
売上高(百万円)	3,074	2,595	478
対連結売上構成比(%)	20.4	20.8	△0.4

▶▶ Eコマース事業

- 既存コマースサイトを通じての人気Tシャツやゲームソフト等の販売、および当事業パートナーである株式会社JIMOSとの共同ショッピングサイト『deBINGOスクエア』の売上により、253百万円を計上
- なお、当社と株式会社JIMOSは、両社の更なる事業の拡大と多角化、収益力向上を目指し、2006年10月にて持株会社体制による経営統合を予定

『deBINGOスクエア』
さまざまな専門店が続々オープン!!

楽しい専門店が集まった『deBINGOスクエア』トップページ
化粧品など女性向け商品がいっぱい『美人deBINGO』
日本中のグルメをお届け。スイーツも充実『グルメdeBINGO』
©2006 JIMOS

	2006年3月期	2005年3月期	増 減
売上高(百万円)	253	478	△224
対連結売上構成比(%)	1.7	3.8	△2.2

▶▶ 広告事業

- 当期に株式会社サイバー・コミュニケーションズと株式会社オプトを合併パートナーとして、モバイル広告商品の開発子会社となる株式会社プラスモバイルコミュニケーションズを設立し、売上高67百万円を計上
- 当期からの新規事業ではあるものの、着実に有力クライアントを獲得中

会員向けに毎朝無料配信する『howzy!BEAUTY』

●**広告枠**
会員の興味を引く、楽しい広告[PR]メッセージで、クライアントの商品・サービス紹介サイトへと誘導



howzy! BEAUTYの登録は、bt@howzy.jpにメールを送って下さい。QRコードからもメールアドレスを読み取ります。

	2006年3月期	2005年3月期	増 減
売上高(百万円)	67	—	67
対連結売上構成比(%)	0.4	—	0.4

海外事業

- 当期より現地の有力コンテンツプロバイダーとの資本提携による戦略ヘシフト
- 北米コンテンツプロバイダーであるAirborne Entertainment Inc.を当社現地法人CYB INVESTMENT INC.を通じて子会社化。当下期より連結開始し、売上高は885百万円を計上
- 同子会社は、現地通信事業者による有力コンテンツプロバイダー表彰制度での受賞も果たし、北米モバイルコンテンツ市場の高い成長力を背景に、足元の業績は堅調

全米で幅広い層に人気のテレビアニメ「Family Guy」。その人気はアニメDVD史上4位の記録となる300万枚を売り上げるほど。Airborneでは、この「Family Guy」の着信メロディーや待受画面に加えて、「Family Guy - Air Griffin」というゲームも今夏よりスタートさせます。



	2006年3月期	2005年3月期	増減
売上高(百万円)	885	37	847
対連結売上構成比(%)	5.9	0.3	5.6

次期の見通し

2007年3月期業績予想について

次期(2007年3月期)につきましては、主力のモバイルコンテンツ事業の更なる伸長や、中期経営計画推進によるEコマース、広告事業といった新規ビジネスの成長、また、マーケティングソリューション事業や海外事業における子会社の成長による連結業績への改善効果等を見込んでおります。

一方、海外子会社取引に係る為替差損や関係会社増加に伴う営業権・連結調整勘定償却による業績への影響を少なからず想定しております。

本業の成長とこれら財務面での影響を勘案し、次期業績予想につきましては、下記のとおりといたします。

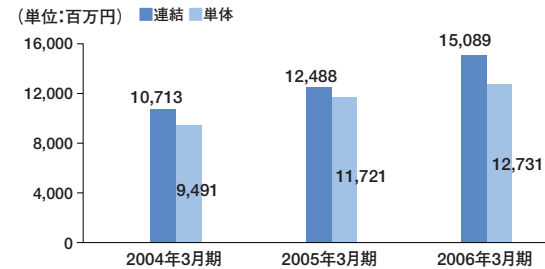
また、配当金につきましては、継続性・安定性を基本方針とし、1株につき年間167円の普通配当を引続き予定させていただきます。

単位:百万円

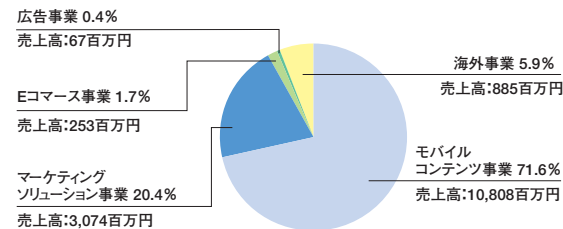
	単体	連結
売上高	14,400	18,100
経常利益	700	300
当期純利益	400	100
1株当たり当期純利益	1,733円35銭	433円33銭

なお、上記予想につきましては、2006年10月実施予定の当社と株式会社JIMOSとの経営統合後の計画を反映しておりません。統合を反映した予想値につきましては改めて発表させていただきます。また、統合後の業績計画により、上記配当予定金額を変更する可能性があります。

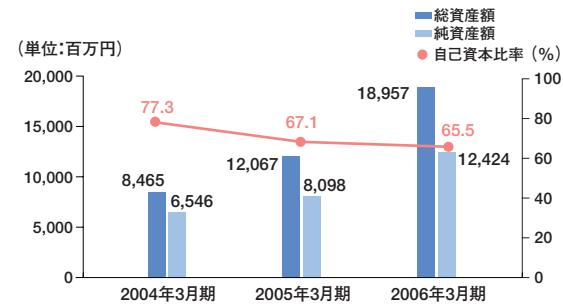
売上高(連結・単体)



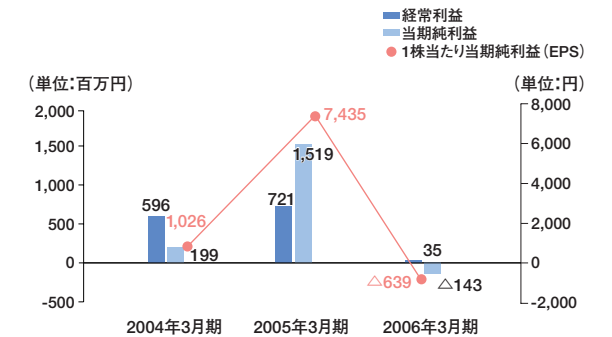
事業別売上高と売上構成比(連結)



総資産額/純資産額/自己資本比率(連結)

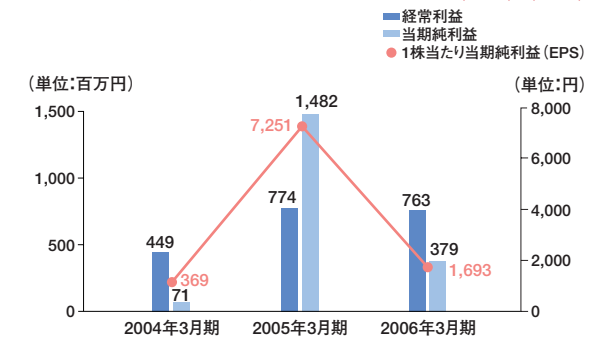


経常利益/当期純利益/1株当たり当期純利益(EPS)(連結)



当社は2004年11月19日をもって1株につき3株の割合で株式分割を行っており、1株当たり指標については比較を容易にするため、2004年3月期期首に分割が行われたものとして記載しております。

経常利益/当期純利益/1株当たり当期純利益(EPS)(単体)



当社は2004年11月19日をもって1株につき3株の割合で株式分割を行っており、1株当たり指標については比較を容易にするため、2004年3月期期首に分割が行われたものとして記載しております。

財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

科目	(単位:千円)		増減率
	当期末 (2006年3月31日現在)	前期末 (2005年3月31日現在)	
《資産の部》			
I 流動資産			
現金及び預金	1,946,363	3,468,402	
受取手形及び売掛金	4,051,301	3,341,895	
有価証券	241,336	50,000	
たな卸資産	23,199	62,733	
繰延税金資産	95,696	165,156	
その他	450,810	144,548	
貸倒引当金	△29,905	△33,143	
流動資産計	6,778,802	7,199,594	△5.8
II 固定資産			
(有形固定資産)			
建物	187,952	212,754	
その他	126,287	78,361	
有形固定資産計	314,239	291,116	7.9
(無形固定資産)			
ソフトウェア	692,842	705,869	
ソフトウェア仮勘定	151,603	201,772	
営業権	6,157,484	—	
連結調整勘定	—	328,922	
その他	159,734	4,661	
無形固定資産計	7,161,665	1,241,225	477.0
(投資その他の資産)			
投資有価証券	3,430,311	2,680,857	
繰延税金資産	687,814	220,337	
敷金	451,594	374,769	
その他	133,059	62,321	
貸倒引当金	—	△3,202	
投資その他の資産計	4,702,779	3,335,083	41.0
固定資産計	12,178,684	4,867,424	150.2
資産合計	18,957,486	12,067,019	57.1

連結貸借対照表

海外子会社に係る営業権の計上や関連会社株式の追加取得等により、固定資産が著しく増加いたしました。また、海外子会社の株式取得に係る次期支払分を未払金に計

科目	(単位:千円)		増減率
	当期末 (2006年3月31日現在)	前期末 (2005年3月31日現在)	
《負債の部》			
I 流動負債			
買掛金	1,597,519	1,289,920	
短期借入金	140,006	146,496	
一年内返済予定長期借入金	104,741	74,836	
一年内返済予定社債	50,000	50,000	
未払金	2,870,721	541,292	
未払法人税等	295,156	874,905	
未払消費税等	40,774	45,422	
賞与引当金	63,971	142,815	
その他	131,332	108,282	
流動負債計	5,294,222	3,273,971	61.7
II 固定負債			
社債	379,477	100,000	
長期借入金	112,237	55,874	
退職給付引当金	22,327	32,291	
その他	1,511	—	
固定負債計	515,553	188,165	173.9
負債合計	5,809,776	3,462,136	67.8
《少数株主持分》			
少数株主持分	723,331	506,632	42.7
《資本の部》			
I 資本金			
II 資本剰余金	5,508,395	3,324,110	65.7
III 利益剰余金	1,450,860	1,663,353	△12.7
IV その他有価証券評価差額金	2,829	△156,630	—
V 為替換算調整勘定	10,592	—	—
資本合計	12,424,378	8,098,249	53.4
負債、少数株主持分及び資本合計	18,957,486	12,067,019	57.1

上したにより負債が増加しております。一方、株式会社リクルートを引受先とする第三者割当増資により資本合計も増加いたしました。

連結損益計算書 (要旨)

科目	(単位:千円)		増減率
	当期 (自2005年4月1日 至2006年3月31日)	前期 (自2004年4月1日 至2005年3月31日)	
売上高	15,089,011	12,488,383	20.8
売上原価	9,526,737	7,569,874	25.9
売上総利益	5,562,274	4,918,508	13.1
販売費及び一般管理費	5,809,444	4,200,456	38.3
営業利益又は営業損失(△)	△247,169	718,052	△134.4
営業外収益	352,936	26,975	—
営業外費用	69,863	23,837	193.1
経常利益	35,903	721,189	△95.0
特別利益	853,112	1,917,748	△55.5
特別損失	810,051	251,758	221.8
税金等調整前当期純利益	78,964	2,387,179	△96.7
法人税、住民税及び事業税	623,861	897,138	△30.5
法人税等調整額	△168,802	4,048	—
少数株主損失(△)	△232,486	△33,806	587.7
当期純利益又は当期純損失(△)	△143,607	1,519,799	△109.4

売上高

連結売上高は、主力のモバイルコンテンツ事業やマーケティングソリューション事業における開発受託・運用の伸長や、海外子会社の新たな連結開始により、15,089百万円と対前期比2,600百万円増(20.8%増)となり、過去最高となりました。

経常利益・当期純利益

経常利益は、単体においては763百万円を計上しましたが、連結では、マーケティングソリューション事業、および海外事業における連結子会社の損失影響もあって、35百万円の計上と対前期比で685百万円減(95.0%減)となりました。当期純利益は、単体では379百万円の計上となったものの、連結では経常利益が低水準であったことから、143百万円の損失計上となりました。前期に約18億円の関係会社売却益を計上したことの影響もあり、当期は大きく減少し、また、連結においては損失計上という不本意な結果となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

科目	(単位:千円)	
	当期 (自2005年4月1日 至2006年3月31日)	前期 (自2004年4月1日 至2005年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,628,280	597,457
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,919,438	△1,029,315
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,064,422	503,766
現金及び現金同等物に係る換算差額	△72,752	38
現金及び現金同等物の増減額	△1,556,047	71,947
現金及び現金同等物の期首残高	3,253,984	3,182,036
現金及び現金同等物の期末残高	1,697,936	3,253,984

利益処分計算書

科目	(単位:千円)	
	当期	前期
I 当期末処分利益	1,980,917	1,669,855
II 利益配当金(普通配当)	38,538	68,886
III 次期繰越利益	1,942,379	1,600,968

11/24 リクルートとサイバード住宅情報分野でおサイフケータイ®活用の新サービス

FeliCa® 搭載携帯電話（おサイフケータイ）や、非接触ICカードを活用して、消費者の動向を捕捉し、リクルートが提供するネットサービスや雑誌の広告価値を高める新サービスを両社で開発。その第一弾として、住宅分譲領域で展開している情報サイト『住宅情報ナビ』で採用となりました。本案件は、資本・業務提携後に両社のプロジェクトチームにより立ち上がった第一号の事業協力案件であり、続く第二、第三の事業協力、新事業立ち上げを鋭意進めています。



©2006 RECRUIT CO.,LTD

12/22 マーケティング支援のためのフリーコンテンツサービス、小売流通・外食事業者にて相次ぎ採用

サイバードが独自開発したさまざまな業種業態の事業者に向けた「顧客の集客と定着化」のためのモバイルサービスの導入促進を、流通・小売・外食事業者向けに強化。株式会社新星堂（CD・DVDなど販売、246店舗）、セガミメディクス株式会社（ドラッグストアチェーン、

306店舗）、はるやま商事株式会社（紳士服チェーン、326店舗）、株式会社プロントコーポレーション（カフェ&レストラン、155店舗）での採用が決定。各社の業種業態に即した同サービスの提供は、モバイルビジネスのパートナーとしての役割を果たす一方で、当社の中期経営計画における新たな集客、会員組織拡大を促進します。

3/8 モバイル向けニュース動画の無料配信サービス『日テレNEWS24携帯配信サービス』サービス開始

サイバードのグループ会社である株式会社サイバードモバイルキャスティングでは、日本テレビが提供しているニュース情報をモバイル向けのニュース動画として無料で配信する『日テレNEWS24携帯配信サービス』の本格提供を開始。このサービスは、毎朝重要なニュースを約2分にまとめて、ユーザーが設定した時間に届けるもの。動画には同時にテロップも入るので、目で見て、耳で聞いて、短い時間で重要なニュースを把握することができます。また、突発的な事件が起こったときなどは、動画速報も配信。日本テレビの“どこよりも早い”ニュースをクオリティの高い動画でお届けします。



©Nippon News Network(NNN)2006
©CYBIRD MobileCasting

2005 10 October

11 November

12 December

2006 1 January

2 February

3 March

10/27

FeliCa搭載携帯電話向けサービス『プラスモバイルサービス for Edy-Style』が、株式会社KDDIのau「おサイフケータイ」のオフィシャルサービスに採用



11/22

富士急グループと提携している会員組織構築の第2弾として、静岡県内にあるスキー場・スノータウンYetiで「おみくじYeti」がスタート

11/22

『プラスモバイルサービス』で、「goo」の検索機能を活用した検索連動型広告の配信を開始

12/7

個人投資家向けに、会社説明会を開催



etc 12/8

サーフィン&波情報サイト『なみある?』が「第3回なみある?サーファーズ・アワード2005」を開催。日本のサーフィンに貢献した7組を表彰



12/19

幅広い世代に長い間愛され続けているキャラクターのモバイルサイト、『きかんしゃトーマス』スタート



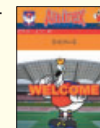
©2006 GullaneThomas Limited

2/1

超有名ゲームクリエイターが集結したファンタジー2D格闘ゲームの最高傑作「格闘精霊伝説ペンタリウム」を『格ゲー★ペンタリウム』で配信開始

3/6

熱狂的なサポーターに“一体感”と“臨場感”を届けるモバイルサイト、『アルビレックス新潟』サービス開始



©ALBIREX NIGATA INC.

3/10

総合Tシャツサイト「T2GO」、米国五大トレードショー「AGENDA」と連携し、バイヤー限定のトレードショーの動画の配信と商品の販売を開始

3/14

株式会社JIMOSと、更なる事業の拡大と多角化、収益力向上を目指し、2006年10月に持株会社体制による経営統合を実施することで合意

3/20

Mr.マリクの超魔術が動画で見て楽しめるだけではなく、マジックも学べるモバイルサイト『Mr.マリクのちょい魔術』スタート



©Maric Promotion Inc.

3/27

連結子会社株式会社C&Tモバイルサポートの2006年4月14日株式譲渡を発表

4/3

新星堂ならではのオリジナル予約特典をどこでも手に入られるモバイルコマースサイト『POCKET SHINSEIDO』スタート



©SHINSEIDO
©SHINSEIDO PORTAL

サイバードの各コンテンツサービスについては、以下のサイトより御覧いただけます。

携帯サイト: <http://www.cybird.co.jp>

PCサイト: <http://www.cybird.co.jp/content/>



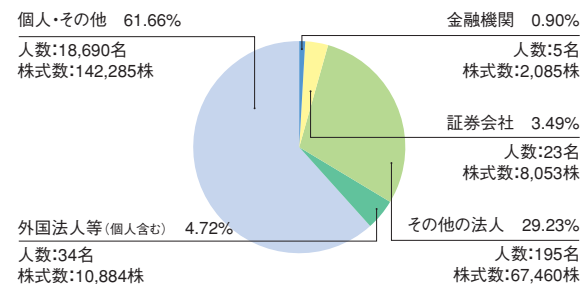
株式の状況 (2006年3月31日現在)

Stock Information

株式の状況

会社が発行する株式の総数824,988株
 発行済株式の総数230,767株
 完全希薄化後株式数240,625株
 (ストックオプション未行使分9,858株考慮)
 株主数18,947名

株主分布状況

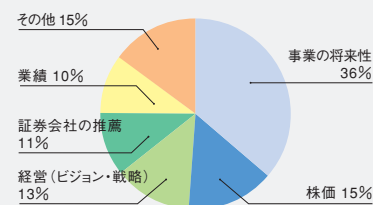


大株主の状況

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
堀 主知ロバート	26,854	11.63
株式会社リクルート	25,300	10.96
オムロン株式会社	10,800	4.68
岩井 陽介	10,439	4.52
株式会社らうむず	7,543	3.26
日本テレビ放送網株式会社	7,500	3.25
株式会社IMAGICA	7,050	3.05
バイエリッシュフェラインスバンクアーゲーカスタマーアカウント	7,000	3.03
立石 知雄	3,704	1.60
大和証券株式会社	3,120	1.35

【第8期中間事業報告書 株主アンケート結果のご報告】

株式の購入に際して重視された点



その他のご意見など

- 次期予想および将来像について、達成の根拠を説明して欲しい→
次期予想につきましては、P7「2007年3月期業績予想について」に記載しておりますが、本予想は2006年10月実施予定のJIMOSとの経営統合を反映しておりません。統合を反映した計画につきましては、改めて発表させていただきます。計画達成に向け、引き続き全社一丸となって邁進してまいりますので、今後ともより一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。
- 今後の増配・株主優待についての方針は?→
配当については、従来どおり、経営成績および財務状態、かつ内部留保充実の必要性を勘案して決定しております。株主優待につきましては、現在実施してはおりませんが、今後の検討課題としてまいります。
- 「インターネットによる議決権行使」の採用は?→
より多くの株主様に議決権をご行使いただけますよう、株主総会にご出席願えない株主様のために、従来の議決権行使書をご郵送いただく方法に加え、パソコンおよび携帯電話を使ったインターネットによるご行使が可能です。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。株主の皆さまからいただきましたご意見・ご感想は、今後の事業活動に活かしてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要 (2006年3月31日現在)

Corporate Profile

設立年月日 ● 1998年9月29日

資本金 ● 5,451百万円

売上高 ● 15,089百万円 (連結2006年3月期)

従業員数 ● 618名 (単体 262名)

事業内容 ● 国内外におけるインターネット対応携帯電話向けコンテンツサービス、モバイルを活用した企業向けマーケティング、モバイル広告メディアの開発/販売、Eコマース、クロスメディアソリューションの開発/提供、ならびにユビキタス社会を見据えた次世代プラットフォームの研究開発

取引銀行 ● 株式会社あおぞら銀行
株式会社みずほ銀行
株式会社三井住友銀行
株式会社三菱東京UFJ銀行
(五十音順)

役員 ● 代表取締役会長 兼 社長 兼 代表執行役員堀 主知ロバート
(2006年6月30日現在)
代表取締役副社長 兼 CSO (最高戦略責任者)中 島 謙一郎
取締役 兼 代表執行役員川 田 敦 昭
取締役 兼 執行役員副社長 (経営統合担当)加 藤 隆 哉
取締役 兼 執行役員副社長吉 川 友 貞
取締役 兼 執行役員副社長岩 井 陽 介
取締役 兼 執行役員副社長山 下 伸一郎
社外取締役池 内 省 五
社外取締役小 村 富士夫
社外取締役澤 田 宏 之
執行役員谷 本 拓 郎
執行役員落 合 伸 行
常勤監査役内 海 淳
監査役竹 山 正 久
監査役谷 津 朋 美

主要株主 ● 朝日放送株式会社 株式会社電通
株式会社IMAGICA 名古屋テレビ放送株式会社
オムロン株式会社 日本テレビ放送網株式会社
オリックス株式会社 読売テレビ放送株式会社
株式会社ゼンリン 株式会社リクルート
(五十音順)

加盟団体 ● インターネット広告推進協議会
社団法人音楽電子事業協会
社団法人日本テレマーケティング協会
モバイル・コンテンツ・フォーラム
(五十音順)

連結グループ企業一覧

会社名	所在地	設立	事業内容	資本金	発行済株式数	サイバード出資比率
ギガフロップス株式会社	東京都港区	2000年2月	情報処理関連	70百万円	1,150株	100.00%
CYB INVESTMENT INC.	米国デラウェア州	2005年6月	海外投資関連	10,000USD	10,000株	100.00%
Airborne Entertainment Inc.	カナダケベック州	2000年10月	情報処理関連	28百万USD	14,172,834株	85.00%
株式会社プラスモバイルコミュニケーションズ	東京都港区	2005年8月	広告企画関連	50百万円	2,000株	60.00%
アクシソフト株式会社	東京都豊島区	1987年11月	情報処理関連	639百万円	4,028株	40.81%
株式会社デムーブ	東京都品川区	2002年2月	情報処理関連	79百万円	1,590株	48.74%
株式会社JIMOS	福岡県福岡市	1998年9月	通信販売関連	1,176百万円	61,520株	20.13%

(注)連結子会社であった株式会社C&Tモバイルサポートの全株式を当期に売却したことにより、同子会社を当期より連結グループから除外しております。